

# 通信小海

「キリストによる和解」

牧師 荒籾 実

人間同士の争いは、自分の正しさを主張し合うことから生じるものです。お互いに、自分が正しくて相手が間違っているところと主張するところに和解は望めません。この関係は、神と人との関係にも当てはまります。人は、神に敵対して自分の義を主張して生きています。このことは、神の存在を無視していることや、神が「義人はいない」と断言しても、自分の内の罪を省みようとしないことから言えます。

「今月のひとこと」  
「(キリストは)自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまで従われしました。」  
ピリピ2:8

ち人間と和解してくださいました。

神と人間との和解を実現させるために、神の御子であるお方が、人間の身分にまで成り下がって下さったのです。そして、十字架の死という屈辱を受けるにまでへりくだられました。

聖書は、そのキリストの姿を示すことにより、争うもの同士が和解するには、互いに相手の立場までおりにいく必要があることを教えています。

全く罪のないキリストが十字架に架かって罪の罰を受けた時、自分の義を一切主張せず、ただ黙ってすべての罪をその身に負って下さいました。

和解の秘訣はここにあります。赦しは先手必勝なのです。相手を赦したら自分が負けなどと思ってはなりません。赦したものが勝利を得るのです。

まず、キリストが私の罪を赦して下さい

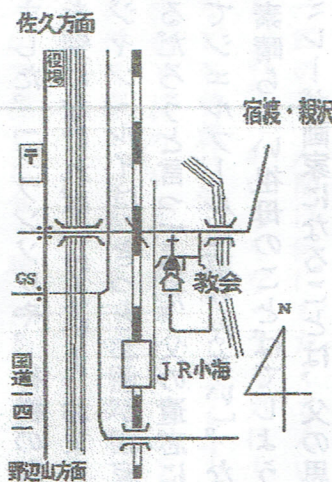
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・二〇二 ☎0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

## 見晴台の教会へどうぞ



## 集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

\*海尻・川上で家庭集会を実施。詳細は教会HPでご確認ください。\*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

\*初めての方も遠慮なくお越しください。(金)タ8:00から聖書の学びをしております。

教会HP (小海キリスト教会で検索) [http://church.ne.jp/koumi\\_christ/](http://church.ne.jp/koumi_christ/)ぜひご覧ください!!

下さった、その事実を受け入れ十字架を見上げる時に、自分が主張する正しさを脇に置き、相手の立場に下り立つて捉えなおす視点が与えられます。そして心の内から相手を赦す思いが湧き上がり、和解への道が開かれるのです。たとえ相手が歩み寄ることを拒絶しても、自分の心には解決と平安が与えられることを経験するでしょう。

私たちはキリストに愛され、罪を赦されています。不条理な人間関係や水面下での争いに悩んでおられる方は、この愛と赦しを受け取って下さい。キリストが自分と何の関係があるのか？十字架が生活の中での悩みや苦しみをどのように解決するのか？そのように思われる方は、共に聖書を読みましょう。あなたも、キリストによる和解という勝利の道を歩むことができますのです。



## 連載

### 信仰の眼で読み解く絵画



岡山 敦彦 【著】

#### 第二章 ミレー

〜農民画家としての信仰の生涯〜

⑤

画家の道を歩み始めたミレーに、最初の試練がおそってきました。父親の危篤です。十六キロメートルの道を必死に走りながら、自分が着くまで神様が父のいのちを守って下さるように祈りました。必死の思いで家に着いたミレーは、父親の最期のことばを聞くとうと耳を父の口元に近づけましたが、脳炎の父は意識を失っていて、ひと言も話すことなく主のもとに召されました。ミレーが二十一歳の時でした。

自分が画家の道を歩むことを父は許してくれた。しかし、その分、農作業の仕事が父の肩に重くのしかかっ

たが故に、自分が父の命を縮めてしまったと自らを責めました。一家のあるじを失って、これから先どのように生活していけばよいか、途方に暮れてしまいました。ミレーは先祖代々の家を建て直そうと必死になつて働きました。彼は農家の仕事をやりこなし、家族を支えることで精一杯で、絵画のことは、ひと時彼の脳裏からは完全に離れ去っていました。

しかし、ある日祖母ルイズがミレーに言いました。「フランソワや。神様の御意志を受けなければいけないよ。おまえの父ジャン・ルイは、きつとお前が画家になるだろうと言っていた。父の遺志に従ってシエルブルに戻りなさい」。なんと素晴らしい祖母のことばでしょう。ミレーが画家になることは、父の思いであるとともに、神様の意思でもあるのだから、神様が必ず最善をなしてくださる。これが、祖母ルイズの信仰でした。偉大な農民画家ミレーの誕生には、彼の将来性と絵画の能力を見抜き、それを支えようとする素晴らしい信仰の家族と犠牲があつたのです。

〈続く〉

## ニチニチソウ

## 日日草・日々想



探しもの

幼い子どもがいる暮らしには、「一体なぜ?」というハブニングがつきものです。その一つが、しばしば家族中大搜索へと総動員する「紛失事件」ではないでしょうか。

少し前の出来事。我が家の朝ごはんは「パン十α」というスタイルなので、前日の夜にパン焼き器のセットをします。ある晩、いつも通りに次の日の分をセットしようとしたところ「パン焼き器のハネがない!」ハネがないと粉をこねることが出来ず、パン焼き器としては致命的。かつお気に入り箸置きを失くした時、ごみ箱に入つて捨ててしまったのだろうかという結論

に達したこともあり、もちろんゴミ箱というゴミ箱も含めて捜します。その頃、娘は手に取った物は何でも自分のカバンやおもちゃ箱に入れていたので、娘の持ち物や引き出しの中まで必死に捜しました。が、見つかりません。

あきらめきれずに迎えた次の朝。捜す場所を思い巡らしながら、洗濯物を洗濯機に入れようと、「あつた!」なんと、ハネは洗濯かごから出て来たのでした。「ああ、良かった!」見つけた時の喜びと安心感。失くしたものを捜して見つけた経験のある方は、共感して頂けると幸いです。

今は物が溢れている時代なので、大抵のものは代わりを手にすることができるとしよう。それでも、何かを失くした時には、あつさりあきらめたりせずに、まずは必至に捜してみるものだと思います。そうであるなら、代わりがないものとしたらなおのこと。

イエス様が語られたことを思います。「百匹の羊を飼っている人が、そのうちの一匹をなくしたら、いなくなった一匹

を見つかるまで捜し歩かないでしようか。見つけたら大喜びでその羊をかついで「いなくなった羊を見つきましたから、いっしょに喜んでください」と言うでしょう。」と。

私たち人間も、神様の愛と恵みの囲いの中から迷い出て、危険にさらされている一匹の羊。人間は他にもたくさんいるから、あなたがいなくなっても気にしななどと神様は決しておっしゃらず、誰も代わり得ないあなたという一人を命をかけて探し、出会うまで呼び続けて下さるのです。

イエス様と出会う時、「ああ、良かった!あなたをずっと探していたんだよ」と優しく温かく迎えられ、自分という存在を心から喜んでもらえる安心感に包まれます。

私もこうやって見つけてもらえたんだな。見つけたパン焼き器のハネに、また焼き立てパンを食べられるという喜び以上に、不思議な安堵を覚えたのでした。



# Welcome!! 秋の特別礼拝

## 「赦されて生きる」



透き通るような青い空。幻想的な夕焼け。神様の造られた世界の美しさを感じる季節になりました。教会では、特別礼拝の時を持ちます。どなたも気兼ねなくお越しください。

長年、やま農場の支援にも関わってこられた山本将信牧師が語って下さいます。合わせて、やま農場の藤田寛さんによる報告を兼ねた証もありますので、どうぞご期待ください。

### 《講師紹介》



\*略歴\* 山本 将信 (やまもと まさのぶ)

1937年、鳥取県倉吉市に6人兄弟末子として誕生。中卒後、大阪に就職。就職1年半後、結核を発病。故郷の結核療養所で受洗。

1957年、聖契神学校に入学。1967年、東京神学大学卒業後、西片町教会伝道師、後に主任牧師となる。

1994年、1年間アトランタに暮らし、キング牧師の足跡を訪ねる旅。その後、岩村田教会、篠ノ井伝道所で牧会し、2013年隠退。

### \*自己紹介\*

私の信条「仕事を遊びのように、遊びを仕事のように」。その心は「仕事をやる以上は楽しく、遊びは仕事のように熱心に」である。私は47歳の時、登山に出会い、手当たり次第山頂を目指した。八ヶ岳も縦走した。

25年前、信州に転任してから入れ込んだのが農業。米、蕎麦、ジャガイモ、玉葱、諸種の野菜など。野宿生活者支援のために大規模にやり、ジャガイモなど多い時は600kgを作り、野良仕事を楽しんできた。現在は登山、農業共に加齢と病（癌と闘病中）のため断念。

## 路上生活者支援

山谷（やま）農場

## お米もお願いいたします

収穫の季節がやってきました。

うるち玄米（二〇一五年・二〇一六年

産）をお寄せください。

※精米後一か月を経過したもの、粳、もち米はお断りします。

〈連絡先〉 藤田 寛

☎ 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、また

は、南牧村社協へ。〒384・1302南

牧村大字海ノ口966・15南牧村社会

福祉協議会気付 山谷農場

\*着払い送付はご遠慮ください。

\*土曜日の配達指定をお願いします。

山谷農場事務局（藤田）小海町芦谷ヒルサ

イドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ…〒振替〇〇二四〇・四・五三七九六

